5月

発行所
大洲市役所
編集
文書課
（月1回発行）

広報 おおず

引越されたときは
必ず
◎住民登録と
◎国民年金の
手続きを

3月末市の人口

人口	41.265
男	19.773
女	21.492
世帯数	10.056

（以上は住民登録による）
面積 240.93平方キロメートル

おとなの責任多い

青少年に聞く座談会

五日からはじまった児童福祉週間とあわせて本年はとくに児童憲章十五周年にあたるので、当市では五日の子どもの日に、市庁ホールで〃市青少年問題協議会長と地区防犯協会長（市長）を囲む座談会と善行で知事表彰を受けた岩黒子ども会への表彰伝達式を行ないました。

熱心に意見をかわす各代表

座談会では、青少年問題協議会長と大洲警察署長、市教育長に市内小・中・高の児童生徒（十二人）と中小企業従事者、身障者、農業従事者、母子家庭らの各代表者が日ごろの考え、意見などを述べあいました。

まず、小学校代表は①地区ごとに遊び場を作ってほしい②不良化防止のためスポーツをする市民グランドと公園、動物園、博物館のある「子どもの国」を作ってほしい③火薬遊びなど危険なものは売らない④おとなも交通道徳を守ってほしい⑤道の狭い所や危険な場所へは信号機を設けてほしい⑥いかがわしい映画のビラははらないでほしいなどが出されました。

また、中学生は①青少年の犯罪はおとな社会に原因がある②非行へ傾いている仲間に温かく接する③クラブ活動を強化する④非行化の原因は、よい友だちづくり、家庭社会環境のうち一つが欠けたときにおこる。即ち、仲間から非行生を出さないようあらゆる努力をする。また、家庭ではみんなが話し合える家庭づくりへ、子どもにも目と心を配っているか、社会の不良化のタネを追放して健全なスポーツ少年団の育成や、防犯組織の強化をはかるなど、おとなの責任も多い。ある高校生は①家庭を離れての下宿生徒には、巡回相談相手を作ってほしい。片足を切断したA君は①就職に周囲の人の積極的な配慮がほしい②楽しい集いの場を作ってほしい。母子家庭のB君も①とくに母子家庭の住宅問題に力を貸してほしい②いまの学校教育は親の教育熱心のあまりロボット的人間が多くなる危険性がある。また①一生懸命働いていれば悪いことをする暇はない②よい指導者がほしい、と働く代表は訴えていました。

これにたいして、みんなの要求はできるだけ早く実現させたいしみんなでできることは努力で解決してほしい。遊園地はできるだけ早く、市民グランドも一、二年中に作りたい。通学道路の整備や点滅灯も設置する。そのほか家庭のみなさんにも、お願いせねばならないことが多いので、お知らせして協力してもらうとそれぞれの立場で約束していました。

知事表彰に岩黒子ども会

同日表彰の伝達を受けた岩黒子ども会（三善、会員一三人）は、昭和三十八年から毎日火の用心と通路の清掃などを行ない、地元民から非常に感謝されていました。

温泉の町へ

諸病に効能知る

―明治15年ころ―

市内森山の県道筋八河から林道を小川に沿って行くこと約二キロ閑静渓谷に「武陵鉱泉」が湧出ています。

今からおよそ百年ほど前、武陵の〃塩杯〃というところに塩分を含んだ水が湧出して、村人はこれを「呑まずの水」と称していました。この水を発見したのが石河喜三衛という人と伝えられています。

明治十五年ころ、この水を浴用にすると諸病に効能があることを知り、小屋掛けの浴場を設けたが営業にまでは至らなかったようです。その後大正七年ころから戦前まで、ささやかな浴場を経営していたようです。

このたびの愛大の高津博士の調査された温泉の分析表によれば、陽イオン、リチウム、ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシユウム、才一、才二鉄、アルミニユウム、陰イオン、弗素、塩素、硫酸、ヒドロ炭酸などを含んでおり、また、県薬務課の調べによると浴用適応症に、慢性関節リウマチ、慢性筋肉リウマチ、創傷、火傷、慢性皮ふ病、慢性婦人科などの薬効があることがわかりました。

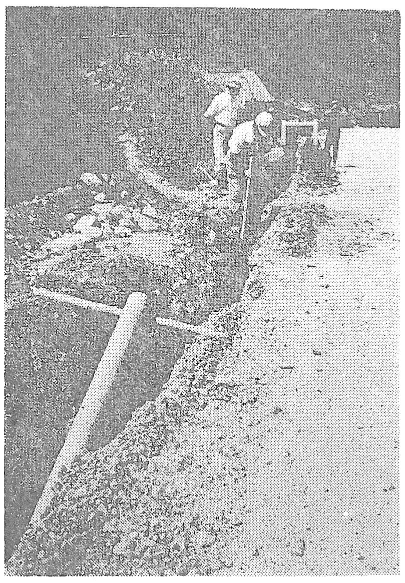


写真　すすむ引湯のためのパイプ布設工事（菅田で）

工事急ピッチ

観光立市をめざす本市では、歴代の市長がその開発に力を注いできましたが実施に至らず、ようやく昭和三十八年度に多くの人々の協力を得てボーリングに成功しました。

昭和四十年度からいよいよ本格的となり、二カ年の継続事業として、工費約二千万円を投じ、およそ一五キロメートルに及ぶ引湯パイプの布設工事が進められています。

この工事の完成によって国民宿舎「大洲臥龍苑」をはじめ、市内旅館など約三十軒に温泉の内湯が可能となりいよいよ温泉郷として観光都市の面目を一新することができるでしょう。

大洲の文化財 (23)

愛媛県指定史跡

大洲城跡

所在地　大洲市大洲城山
所有者　大洲市
（昭和28年2月13日指定）

大洲城は鎌倉時代末の元弘元年（一三三一年）に宇都宮豊房がここに城を構えた頃から城郭を整えるようになりました。その後、大野、河野、戸田、藤堂、脇坂、加藤氏とたびたび城主がかわりました。

加藤貞泰は江戸初期の元和三年（一六一七年）大洲城主となり、それ以後明治四年（一八七一年）の廃藩まで加藤氏が十四代約二百五十年間続きました。

城は天然の要害をうまく利用し外堀、内堀、肱川等を周囲にめぐらした平山城（ひらやまじょう）で規模は大きくないがよく整った城郭でした。四層四重の天主閣は明治初年に取り壊されましたが、本丸に台所櫓、高欄櫓、二の丸肱川端に苧綿（おわた）櫓、三の丸に南隅櫓の四櫓があって、共に重要文化財に指定されています。又二の丸に御貯蔵（おたくわえぐら）があって当時をしのばせてくれます。

大洲城は又の名を地蔵が岳城、亀の城、古くは大津城とも云われました。

城の本丸からの眺めはすばらしく、富士山、神南山、感応寺山、大洲盆地、大洲の町家、それに肱川の清流を見下ろして市内随一の景観と云えましょう。

（註、平城（ひらじょう）は平地を利用した城、山城は山を利用した城、平山城は山と平地の両方を取り入れた城）

（市教育委員会）

昔をしのばせる大洲城跡

稲作の一割増産めざす

大洲推進部が発足

大洲市と市農業委員会、食料事務所大洲支所、農業改良普及所、喜多地方病虫害防除所、市農協では、「稲作の一割増産」をめざして〃愛媛県稲作安定多収運動大洲推進部〃を結成、十日に市役所で才一回の会合を開き、さっそく今後の米づくり対策を協議しました。

最近、大洲の農業は、農家の意欲と指導各層の熱意によって次才に近代化の軌道に乗ろうとしています。とくに、稲作、酪農、果樹などの六つの柱を基幹とした経営の選択的拡大が進んでいることはこれからの農家収益の増大を約束するものとして注目されています

しかし、稲作については、国民食糧の確保という最も重要な課題を持ちながら、国家的な傾向として、農業労働力の流失、兼業農家の漸増、稲作に対する熱意の低下などによって、必ずしも万全とはいえない現状です。

そこで県においては「産米一割増収」を目標に施策を進めており、その一環として大洲市においても全関係機関の参集を得て本部会が発足しました。

熱心に審議された内容は、新技術の普及促進、栽培管理、災害防止、農業経営の安定など九項目の産米対策を軸とした規約が決定し役員には、部長として市長、副部長には、市農協の組合長がそれぞれ選出されました。

なお、この運動の具体的な実施については、農業改良普及所の指導体制と、農協を主体とした実践班との緊密な連絡をはかり、一割増産、米づくり運動の意欲を喚起するよう強力な呼びかけをすることになりました。推進部としては本運動の目的達成のため、農家の方の深いご理解と、数多くの意見を寄せられるよう希ってやみません。

原付自転車、テーラーなどに乗る人に

①車を所有又は変更した場合、（新車、中古車を購入、他町村から車をもって転入などしたとき）②廃車、譲渡、売渡しなどをした場合、③標識をき損、紛失などしたときには申告するように義務づけられています。めんどくさがらず、すぐ届出てください。

現在の所有者にはくわしい印刷文書といっしょに配付します。

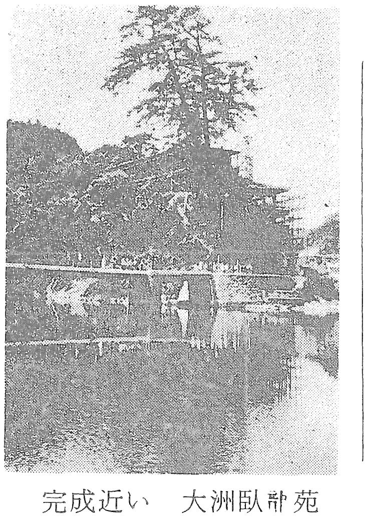
なお、不明な点については税務課へお問合せください。

国民宿舎

「大洲臥龍苑」建設工事すすむ

さる一月に着工した国民宿舎〃大洲臥龍苑〃の建設工事は、現在約六〇％すすみ、そのモダンな姿が清流肱川にはえる日も間近かとなりました。

建物は鉄筋コンクリート四階建で、武陵温泉を引湯する大浴場をはじめ、大食堂を完備、客室は六畳―九室、八畳―四室、一〇、五畳―一室、一七、五畳―二室、一八畳―一室、二〇畳―三室で、収容人員は一〇三名です。



完成近い　大洲臥龍苑

手あげ運動、三ない運動を守ろう

春の交通安全運動によせて

今年も五月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいに春の交通安全運動が展開されています

愛媛県では、昭和四十年中に二千百三十二件の交通事故が発生し

死者　一二三人
傷者　二四八六人

という大きな犠牲者を出し、今年に入っても益々増加する傾向にあります。

交通事故は人ごとではありません。私たちが、また私たちの肉親が、いつ、どこで犠牲になるかわかりません。

私たちひとりひとりが交通道徳を守り、愛媛県からこのような悲惨な事故が起らないよう注意しましょう。

今年の運動実施目標は

◇歩行者は手をあげて道路をわたる。
◇運転者は歩行者の手あげにこたえて、手をあげる。
◇自転車に乗る人は、正しい手信号を励行する。

などの「手あげ」運動と

◇酒をのんだらハンドルを持たない。
◇運転する前には酒を飲まない。
◇運転する人には酒を飲まさない

の「三ない」運動を励行するよう呼びかけています。

みなさんのご協力をお願いします。

（警察スポット）

愛の手で守ればみんな良い子ども

＝少年を正しく導こう＝

◎子どもの指導は、まず家庭で

①家庭は明るく

家庭が暗いと、子どもの気持は不安定になりがちです。そして、このことは非行化の大きな原因となります。親と子が楽しく話しあえる家庭がたいせつです。

②正しい理解と愛情を

子どもを放任したり、でき愛することは、いずれもよくないことです。正しい理解と愛情で子どもをすこやかに育てましょう。

③非行防止の注意点

○夜遊びをさせない。
○服装や態度をいつもきちんとさせる
○不必要な刃物などは持たさない。
○よいものを見たり、読んだりする習慣をつける。
○こずかい銭を余分に与えず子どもまかせの使い方をさせない。
○友だちとは、明るく正しく交際させる。
○強い刺激や悪い影響を与えるところには行かせない。

④早期発見、正しい指導

少年の非行も病気と同じように早く発見して正しく指導すれば大事にいたらずにすみます。もし、非行化したりそれらしいきざしがみえたときは家庭だけで処理しないで専門の機関や警察に相談してください。警察では、各警察署、派出所、駐在所に少年相談所をおいて、少年問題の相談に応じております。安心してご利用ください。

のど自慢の全国中継

―六月五日、南中体育館から―

ふるってご出場ください。

NHKでは、大洲市から川びらきを記念して、「のど自慢素人演芸会」を、テレビ・ラジオで同時に全国に中継放送することになりました。

なお、こののど自慢は、才二十回を迎えるNHKのど自慢全国コンクール南予地区予選も兼ねています。

司会は、宮田輝アナウンサーのあとを引きついだ大井安正アナウンサーです。

◆日　時　六月五日（日）正午から
◆場　所　大洲南中体育館
◆出場申込　五月二十六日までに住所、氏名、年令、職業、曲目を記入して、松山局区内松山中央放送局「のど自慢係」へ申込んでください。
◆入場は無料です。

NHKから

おかあさんのお迎えで笑顔の園児たち（五郎で）

〝なかよし号〟走る

保育所統廃合　通園で園児を満載

四月の新学期にはいり、菅田から徳森、新谷方面にかけ幼ない園児を満載したスマートなスクールバス〝なかよし号〟が走っています。

このスクールバスは、さきに統廃合をみた下新谷保育所と今年度ふみきった大竹、宇津両保育所の園児の通園のため配車になったもので、朝は七時半に大洲を出発大竹、宇津を経て菅田保育所へ、徳森、五郎、下新谷を経て新谷保育所へ、また帰りは四時を過ぎて同じく菅田、新谷の順で一人の保母車掌さんを同乗したなかよし号はそれぞれかわいい園児たち（三十～三十六人）を無事送り届けています。

この計画の実施にふみきるまでには、地元のみなさんの深い理解と協力を得たのですが、いまでは時代のすう勢とともにその効果をあげるために、よい施設、整った設備、よいクラスの編成など保育上欠かすことのできない諸条件が備い、関係者はよろこんでいます。

当の園児たちもいまではすっかり馴れて、このなかよし号を見ると笑顔で迎えるなど通園を楽しみにしているようです。

働く年少者の生活文の募集

働く年少者のみなさん、今年も次の規定によって生活文を募集します。すすんで応募してください。

規定

①内容

応募作品は、みなさん自身の働く生活の実情や、働く生活の体験を通しての感想、考えなどをありのままに書いていただくものですが、できるだけ次の内容のうちから選んでくだちい。

〇私と職業（現在従事している仕事に、どのような価値を見出しているか、また、自分自身を職場に活かすため、どんな努力をしているかなど）

〇職場生活と創意工夫（仕事や生活をよりよくするため創意工夫し、実行したことなど）

〇職場生活と私の将来（現在の生活を通して、将来やりたいと思うことなど）

作品は一人一編とし、未発表の自作にかぎります。

②原稿の枚数

四百字詰原稿用紙六枚以内

③応募資格昭和二十三年四月一日以降に生まれた働く年少者

④締め切り日

六月十日

⑤賞

優秀作品六十編以内に労働大臣賞及び副賞を授与します。

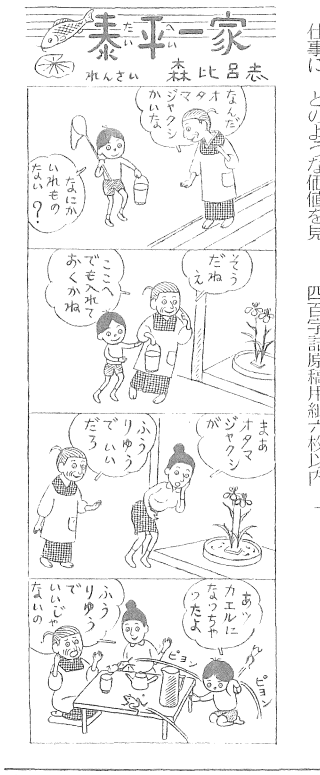
⑥入賞発表

昭和四十一年十月に直接入賞者あて通知するほか、新聞、ラジオなどで発表します。

⑦応募原稿の送り先

松山市朝美町一丁目辻の前
愛媛婦人少年室

⑧その他応募にあたり、くわしいことは市教育委員会社会教育課へ


泰平一家（たいへいいっか）
れんさい　森比呂志
なんだオタマジャクシかいな
なにかいれものないの？
そうだねえ
ここへでも入れておくかね
まあオタマジャクシが
ふうりゅうでいいだろ
あッカエルになっちゃったよ
ふうりゅうでいいじゃないの
ピョン
ピョン

新刊図書案内

—大洲市立図書館—

浮世絵美人画・役者画　オ9～12巻
日本の合戦　第8巻
思想の歴史　オ9～12巻
日本の歴史　第11～14巻
世界の人間像　オ19・20巻
世界文学全集　オ5 12 13 30巻
戦争と人間　第4～5巻
昭和史発掘　オ3巻
戸川幸夫動物文学全集　6～9
世界美術図典
現代用語の基礎知識　66年版
国際児童文学賞全集　オ4 11巻
ディズニー童話　オ22巻
人物・日本の歴史4・5・11・12
愛媛年鑑　昭和41年版
教育の森　オ一～三巻
国民の歴史　オ十巻

—寄贈図書—

進歩的文化人
教師はこれでいいのか
異色の人間像
日本の上流社会
犬猿の仲
北ベトナム報告
インドネシアの横顔
ベトナム戦争とゲリラ
国連事務総長
女人白道
源義経　オ一～五巻
憂うつなる党派
洒落た関係
意気に感ず
草の陰刻
現代日本文学大事典
日本名作の旅
史跡を行く
住みよい小住宅

図書を貸出します

大洲図書館では、図書の個人貸出を行なっています。一般のご利用をお待ちしています。

貸出しの要領は次の通り

①借出券は一カ年間有効です。

②貸出の図書は一回一冊とし期間は十日以内です。

特定の図書は貸出をいたしません。

③返本がおくれ、これを督促するために要する費用は閲覧人の負担とします。

ただし、三回以上延滞すると貸出を停止します。

④閲覧図書は転貸することができません。

⑤借出券の紛失・盗難などの場合はすぐに届け出てください。

⑥その他必要な事柄は、図書館規則によります。

肱川をきれいに

地区民の清掃奉仕きめる

本格的な観光シーズンにはいった当市では、その観光資源の代表である肱川を美しくして、訪れる観光客を心よく迎えようと、地区民総ぐるみの肱川清掃の労力奉仕をきめました。

当市の観光行事には伝統をもつ清流下りから観光ウ飼い、川祭り花火大会など肱川の自然美を生かしたものが多く、訪れる観光客も年々増加しているが、最近この肱川の川原に心ない人によって空びんや木、紙くずなどが捨てられ、美観がそこなわれているので、市と商工会議所、地区委員会、保健所、土木事務所、商店街連合会など十一団体が主体となって、肱川の環境の美化をはかって、観光客に大洲のよさを十分に味わってもらおうと〝肱川を美しくする運動〟をおしすすめることになったものです。

まずオ一回を本月十五日午前八時から二時間の予定で行なうことにしていましたが、雨のため二十二日に延期になりました。

清掃は、肱川橋を中心に亀山橋附近から城山下流にいたる一体を九班に分け、班の責任者の指導によって各地区民がそれぞれの受持区域の雑草の刈り取りやガラス、紙くず、竹ぎれなどをまとめたり排水口の汚物を取り除くことにしています。

また、この行事は続けることにしており、このような大がかりなものを年間二、三回と、地区ごとに定期的に行なうことにしています。

大洲地区商店街

金曜を公休に

肱南側—オ一、三金曜
肱北側—オ二、四金曜
（六月一日～九月二十日）

大洲商店街連合会
大洲 商工 会議所

常磐町筋から三笠通りへ

—バス路線を変更—

国鉄と民間各社では、いままで殿町～常磐町を運行していたバス路線を変更し、十五日から新道路（三笠通り）を運行することになりました。

最近、常磐町筋の商店街は車両数の増加によるふくそうと駐車々両や自転車の放置による交通渋滞など道路の整備環境が非常に悪くなっており、事故発生の危険性が強いので、今回の措置となったもの。

上須戒で人権相談

◇とき　五月二十六日（木）
十時から十五時まで
◇ところ　市役所上須戒連絡所

人権法律関係で悩んでおられる方は、すすんでご相談ください。当日は人権委員さんや法務局大洲支局長さんがみなさんの相談を受けられます。

結核予防接種

〇該当者

昭和十一年四月一日から昭和四十年十二月三十一日までの出生者全員、ただし、次の者を除きます。

A、保育所、幼稚園、小中学校児童生徒
B、各事業所の職員
C、二年以上連続陽性者
D、医師の証明により結核患者であったことが明らかな者
E、結核発病のおそれがあると診断されている者

〇料金は無料です。

〇日程など

▽ツベルクリン接種

喜多小学校講堂	十六日
大洲市公会堂	十七日
平小学校	二十五日
久米小学校	二十五日

▽ツベルクリン検診とBCG接種

喜多小学校講堂	十八日
大洲市公会堂	十九日
平小学校	二十七日
久米小学校	二十七日

※実施時間は、いずれも午後一時半から二時半まで

赤ちゃんの健康診査と育児相談

▽該当者

四十年一月一日から四十一年四月三十日までに生まれた者

▽日程など

場所	日時	
八多喜公民館	5月17日	後1～3時
大川公民館	5月17日	後2～3時
蔵川公民館	5月18日	後2～3時
南久米小講堂	5月17日	後1、30～3、30
三善連絡所	5月20日	後3～4時
平野連絡所	5月20日	後1、30～3時
柳沢連絡所	5月26日	後1、30～3時
新谷公民館	6月8日	後1、30～3時
大洲市公会堂	6月15日、16日、17日	後1～3時

生ワクチンの投与

◇該当者

昭和四十年一月二十一日から四十一年二月十五日までに生まれた者

◇投与料

四十年度の市民税のうち、所得割課税世帯は六十円、それ以外の方は無料

◇日程など

場所	日時	
大洲公会堂	5月31日	後1、30～3
平野連絡所	〃月24日	〃1、30～2、30
南久米小講堂	〃月17日	〃2、30～3、30
菅田連絡所	〃月17日	〃1～2
大川連絡所	〃月26日	〃2～3
蔵川診療所	〃月27日	〃2～3
柳沢連絡所	〃月25日	〃前11～12
新谷連絡所	〃月25日	〃9～10
三善連絡所	〃月20日	後3、30～4
八多喜連絡所	〃月20日	〃2、30～3
上須戒診療所	〃月20日	〃1～1、30

電気豆知識

建物と電線

電線が家のスグ近くにあると強風などにあおられた電線が家にスレて切れるおそれがあるだけでなくトタン板やトイなど金属性のものにふれて、事故になりかねません。電線と建物はどの程度離れていれば安全かというと、電圧の高低によってきまっています。電圧は六〇〇ボルト以下を低圧、六〇〇ボルト以上七〇〇〇ボルトまでを高圧、七〇〇〇ボルト以上を特別高圧と区分しています。

建物と電線との間隔は、低圧および高圧の湯合には、上方で二、三メートル以上、側面で一二メートル以上離します。

ただし、これはハダカ電線の場合で、具体的には電線がどのような絶縁材で被覆されているか、建物がコンクリートづくりかなど、その電線と建物の種類によって緩和されます。

広報のしおり

冬物の整理と乾燥剤

八十八夜をすぎれば、野にも山にも、あかるい若葉、青葉のにおいが満ちあふれてきます。もう寒い日もありませんから、まず、冬物の衣類の整理を手早くすませましょう。収納する箱などにメモをはりつけておけば、秋口に取り出すとき、まごつかないですみます

次に　そろそろ白いものを着る季節です。ワイシャツ、下着類、ハンカチなどが汗やほこりでよごれが目立つのもこれからです。ときおり漂白剤を使ってさっぱりさせましょう。漂白剤は名のとおった品を使用すると安全です。

また、かびのはえるのもこのごろからです。冬物をタンスや衣類箱に収納する場合は、必ず吸湿剤防虫剤をお忘れなく。

市販の吸湿剤で××ゲルと、ゲルが末尾につくのは、再生がきいて便利です。なべに入れて、トロ灯にかけると乾燥し、何度でも使えます。最近は吸湿度がわかるように、着色したものがあって、湿気を吸うと青からピンクに変わる乾燥剤が市販されています。ピンクになったら再生するとまた青になります。

創業50周年記念
簡易保険新加入運動
昭和41年5月～6月
主催　郵政省
後援　大蔵省、文部省、自治省、国鉄、NHK、電々公社

野菜・くだもの・魚

やお屋の店頭にみずみずしい青野菜やいちご、夏みかん、びわなど、お魚やには、いきのいいかつおなどが並びます。

青野菜やくだものはビタミン類の補給源であり、美と健康の源泉です。農薬や寄生虫、細菌類に注意して十分中性洗剤で洗ってから食べることです。

さていちごが安いときに、いちご酒を使ってみましょう。

いちごの目方と同量の砂糖をいっしょに、三十五度のしょうちゅうにつけます。たとえば、一・八リットルのしょうちゅうには、いちご一キログラム、砂糖一キログラムということころです。

いちごは空気にふれるとすぐ腐りますから、密封して一日一回よく揺り動かします。一週間ぐらいで深紅の美しいくだもの酒ができ上ります。これをガーゼなどでこします。残ったいちごは、ジャム代わりにパンにつけて食べるとおいしいものです。

◉つゆへの心がまえ

五月も下旬ごろからは雨の多い日が多くなり、時にはつゆのはしりのような天候がつづくものですそして六月の上旬には本格的な梅雨がやってきます。

まず、わが家の不備なところをよく調べ、雨もりなどのないように修理しておきましょう。

家の周囲の水はけはいかがでしょう。雨が床下などに流れこむことのないよう十分注意してください。

蚊やはえの発生予防も、五月上旬がよいのですが、いまからでも遅くはありません。ごみ箱や下水などには殺虫剤と消毒剤をまぜて散布する必要があります。殺虫剤をいくら散布しても消毒剤のかわりにはなりませんし、消毒剤だけで殺虫剤のかわりをするものでもありません。

◉こどもの生活管理

五月初旬の連休あけには、こどもに休みぐせがついて、生活がだれ気味になるものです。五月も十日を過ぎたら、規則正しい生活に早く戻るように気をつけてあげましょう。

とくに、一年生は、緊張した一か月目がすぎて、こどもによってはひどく疲れた様子を見せることがあります。検診などをしてみて異状がなかったら、できるだけいたわりながら、学校に送り出してやることです。